

海は広くて果てしない
この先を求めて我々は
よりよい未来をつくり続けます



株式会社アイ・エイチ・
アイ マリンユナイテッド
代表取締役社長

蔵原 成実

船舶海洋事業の市況には世界経済の動向が敏感に反映されますので、我々には常にグローバルな視野をもつことが要求されます。世界経済は金融収縮による低迷から未だ脱しきれませんが、BRICsなどの新興経済諸国の成長を背景として中長期的には拡大していくと予想されています。したがって、船舶海洋事業は中長期的に成長産業であるといえますが、以下のとおり、幾つかの課題もあります。

まず、地球環境問題への対応です。酸性雨、地球温暖化、生態系の変化などの環境問題がクローズアップされ、地球環境保全への関心が年々高まって

きています。海洋への油流出事故が及ぼす環境影響が甚大であることは周知のとおりですが、環境・安全に関するさまざまな規則・基準の要求はますます厳しくなっていくでしょう。また、船に搭載されるさまざまな船用機器は年々高度化していますが熟練した船員は不足しており、お客さまである船社・海運オペレータでは就航船のライフサイクルを通じたエンジニアリングサービスの需要が高まっています。

株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド (IHIMU) は、「船舶海洋分野における技術を通

じて社会の発展に貢献する。人材こそ唯一最大の財産である。」を経営理念としています。前述の事業環境は当社の技術力、人間力を発揮して製品・サービスを差別化できる好機と考えられます。

当社のもつ技術と商品の例を幾つか挙げますと、豊富な建造実績と絶え間ない技術開発の成果を集大成した IHIMU 環境負荷低減船 (eFuture)、プラグイン電気推進船 (ZEEPS)、二重反転プロペラや各種付加物などの省エネ技術、自動線状加熱曲げ加工装置 (IHI- α) などによる生産の機械化・自動化、3D-CAD を推し進めた革新的な生産技術、そして自立角型タンク (SPB) 技術を中心とした海洋構造



eFuture



ZEEPS



IHI- α

物や LNG 船があります。

また、技術の短命化は昨今の一般的な傾向です。不断の技術開発によって、常に造船新興国の数歩先を進むとともに、差別化を維持できない技術はむしろ国内外のパートナーに展開するなど、各種プロジェクトに柔軟に対応していく戦略を採ります。さらに、就航から解撤に至る船のライフサイクルを通したさまざまなエンジニアリングサービスを提供していきます。

労働コストの国別格差や為替差によって、韓国、中国との熾烈な国際競争が予想されていますが、当社ではお客さまの望まれる品質の商品を適正な価格で提供することはもちろん、技術・サービス力の高さに裏付けされた IHI ブランドによって、お客さまへのソリューションを提供する特色ある開発型造船業のビジネスモデルをスピードをもって創出していく所存です。

周囲を海に囲まれ、世界有数の広さの 200 海里排他的経済水域をもつ我が国では、国防の充実や海洋資源開発・海洋空間利用などに向けて、船舶海洋事業の維持発展はますます重要となるでしょう。

我々の開発型造船業には確かな未来が見えています。